

経営支援サービス

1 Message /メッセージ

決算書を 経営の武器にする

税理士は、税務会計の専門家として適正な財務諸表を作成するのは当然です。しかし、それだけではありません。会社を最も良く理解している第三者として、その作成過程で様々な付加価値を生み出し、経営にフィードバックすることが可能です。

「決算書は過去の経営成績を数値化したもの」と思っていませんか。経営者にとっては、未来に向けた道のりの一時点なのではないでしょうか。

- ・ 会社をどの方向にどのように成長させるのか
- ・ 限られた資金・ノウハウ・人材といった経営資源をどのタイミングでどのように活用するのか
- ・ 人的資源を最大化させるにはどのようにすべきか
- ・ 不確実性のあるリスクに対してどのように備えるか

これらをどのように「数値」でとらえるか、どのように「決算書」にあらわすか。どのように「社内」に共有するか。どのように利害関係者にコミュニケーションしていくか。

金融庁が事業性融資に舵を切った今、生きた決算書こそ経営の武器になる。これが私たちの経営支援ポリシーです。

2 Service /提供サービス ～数値に基づいた実現可能性・即効性・一貫性が強みです～

1. 仕組み化サービス

コーポレートガバナンス構築、会社の仕組み、金融機関とのコミュニケーション、研究開発の仕組み作り

2. セカンドオピニオン・ファシリテーションサービス

重要な経営課題についてのセカンドオピニオン業務

社外監査役、社外取締役としての経営会議の課題発見&会議活性化サービス

3. 経営幹部の経営理解・能力向上

中堅、幹部社員の経営能力向上研修

4. 収益力向上・見える化サービス

社員一人あたりの損益管理体制構築サービス

多角期における、事業部別の管理体制構築サービス



3 Example /サービス提供事例

1. 政府系金融機関の支店や本店組織での勤務経験、海外留学経験や他の事業会社での監査役、取締役での経験を活かした経営への助言サービスを提供できるところが評価されています。
2. 研究開発活動の見える化、測定体制の構築による減税メリット、収益判断時期の明確化を図ることができるとして喜ばれています。
3. 一人あたりの損益管理体制を構築することにより、個人個人のモチベーションのアップや外部単価の明確化、給料と収益との対応の見える化を図ることができ会社全体の収益力の向上に役だっているところが評価されています。



4 Profile /プロフィール

湊 義和 Yoshikazu Minato (税理士)

- アメリカ合衆国MA ポストン生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業
- 国民金融公庫（現日本政策金融公庫）入庫 東京支店 人事部 USA George Washington Universityへ派遣、総務部勤務。
都内税理士事務勤務を経て、H11.9独立開業し現在に至る。
- 現在、東京税理士会中小企業支援対策委員会 副委員長
東京税理士会税理士会員相談室相談委員
- 日本税務会計学会国際部門常任委員、租税訴訟補佐人登録、認定経営革新等支援機関。



5 Seminar /直近のセミナー

- ・ 東京信用保証協会 「事業承継セミナー」
- ・ 東京税理士会 会員研修会「最近の中小企業の経営強化策」について

・ 東京信用保証協会
「税理士直伝！創業時に身につけておきたい”数字”の見方・考え方」

